

うどんや骨付鳥だけじゃない！

実は「アスパラ」も

人気なんです

香川県のアスパラは、高価な野菜にも関わらず、物が足りないくらいよく売れています。県産の中でも、丸亀のアスパラは特に人気で、まさに品質と味では日本一。美肌効果や免疫力を高めるビタミンA・E・Cの栄養もたっぷり入っています。どうしてアスパラが人気なのか、その魅力に迫ります。



アスパラって？

南ヨーロッパからロシア南部が原産地の植物。日本には江戸時代に鑑賞用としてもたらされ、昭和45年頃に水田転作物で露地（屋根など覆いのない地面）栽培を開始。昭和57年頃は、病気対策や収穫の早期化により、ハウス栽培が一般的になりました。旬は春で、1月から3月に顔を出し、2月から10月まで出荷時期。

おいしいアスパラの見分け方

- 太い・穂先が締まっている
- 切り口がみずみずしいもの

アスパラ作りに適した環境

香川県は日照時間が長く、ため池があることからアスパラ作りに最適な環境です。また雪が降らず、風があまり吹かないため、つるつとした傷のないアスパラが生まれます。

アスパラの常識を打ち破る「やぬきのめざめ」

アスパラの品種は、大きく分けて「ウェルカム」と県オリジナル「やぬきのめざめ」の2種。めざめは、平成8年に県農業試験場で開発が始まり、平成17年6月に品種登録されました。ウェルカムより、春の芽覚めが早く1月から収穫。甘みが強く、太くて柔らかいのが特徴で、長いものは全長50cm、通常の2倍以上の長さで出荷することも可能です。

市の「ふるさと丸亀応援寄附金お礼の品」のひとつとしても、やぬきのめざめが入っています。詳しくは、同ホームページへ。



アスパラを作り始めて7年目 作るのがおもしろいんです



少し蒸し暑いハウスの中。天気によって入り口を開閉しながら20〜25度以上、土の温度は15度以上に温度調整しています。「今年は二重ばかりから一重ばかりのハウスに変え、3月スタートに設定したんです。去年だとすでに出荷していたんですが、10月まで後が続かないので、お客さんに十分な対応をするために」。

そもそもアスパラ作りは、今から約50年前、鈴木さんのおじいさんから始まりました。お父さんも受け継ぎ、鈴木さんもすんなりかと思いきや、「30歳で農協からインターンに行ったのが始まりで、それ

ぜいたくな作り方はめざめだからこそ

「あすばら屋しげ」鈴木 茂昌さん(37歳)



までは県外でサラリーマン。農家なんてやるものかと思っていました。しかし仕事が終わらず地元へ。インターン先の眞鍋倫明さん(岡田地区)に出会ってなかつたら、家の手伝いレベルで終わっていました。最近では、私のアスパラも眞鍋さんが広めてくれて、ますます手が抜けません」と、自信にもつながっているようです。「アスパラは、スタートまでに何千万円と費用がかかります。農業の仕事に就く若い人たちが増えてきましたが、アスパラを作るにはお金の面でできない。今は人が足りないんです」と、人手不足の問題もあります。

よりおいしいめざめのために

「今年ね、味が濃くて手応えがあるんです」と、生のめざめを食べさせてくれました。「あまいっ」シャキシャキとした歯ごたえもあり、柔らかい。「穂先が命なんです、実は下が甘くて上は少し苦味があるんです。採った瞬間から品質が落ちるので、品質を保つためにもネット直販しています」。

20棟あるハウスの作付面積は35アール。「土むき出しで3うね作る所を、土を高くし、2つだけにした他県ではありえない形。多いと蒸れて病気や細いのしか出ないため、ゆつたりと植え、根の伸びしろを増やしています」。



長さは世界一の50cm

「重要なのは土と水(井戸水)ですね。今は土の中にあるエネルギーで芽が出ますが、5月にわざと切らずに木まで成長させ、光合成で養分を送り込む。これ

■作付面積全国順位 (露地・施設)	■出荷量全国順位 (露地・施設)
1位 北海道 2位 長野 3位 秋田 … 12位 香川	1位 北海道 2位 佐賀 3位 長崎 … 11位 香川
■作付面積県内順位 (H29産計画)	■出荷量県内順位 (H29産計画)
1位 丸亀市	1位 丸亀市



アスパラのクリームスープ



アスパラごはん



アスパラの焼かり和え



アスパラと豆の春巻き

2.19開催 地域塾講座「アスパラの魅力を探ろう」

ひまわりセンターで、生産者の鈴木茂昌さん、野菜ソムリエプロ・川村章子さんによるアスパラ料理4品が紹介されました。



参加者からのコメント

- おいしくて、甘い
- あっさりしていて食べやすい
- 家でもしてみたい
- 春巻きは、いろんな食感が楽しめる

	人数	生産量	備考
全国出荷量		25,700t	H27産
県内生産者	517人	745.4t	H29産計画
うち丸亀市生産者	93人	153.6t	H29産計画

目標は全国へ

2月15日(水)から17日(金)まで、小売や外食業界などの商談展示会のひとつ「スーパーマーケット・トレードショー2017」が幕張メッセ(千葉県)で開催され、初参加した鈴木さん。県から約40店舗出展したなか、めざめは特に注目を浴び、行列ができるほど。全国へのPRにもつながり、問い合わせが多いそうです。香川県のアスパラは、生産者のいろんな思いから生まれています。県外の人にも誇れるアスパラをぜひ食べてみてください。